

龍神覚醒

in 金沢

8/23 開催



「クルミラ」開発者であり
「龍神覚醒」主宰の
大内真輔が降臨!!

場所

ITビジネスプラザ武蔵 5F研修室2

金沢市武蔵町14番31号

※「金沢エムザ」スタジオ通り
下堀町側エレベータをご利用ください

12:30 受付開始

13:00 スタート

◆受付 12:30 ~

◆1部 13:00 ~ 14:30 無料体験会
10分休憩

◆2部 14:40 ~ 16:00 龍神覚醒・初級編
10分休憩

◆3部 16:10 ~ 17:00 龍神覚醒・上級編

◆17:00 ~ 質疑応答

◆17:45 終了となります(撒収)

◆18:15 ~ 懇親会

1部のみ参加も可能です。

無料枠が終了後、初級編→上級編に移ります。

※当日、無料体験参加後に希望者は初級/上級の受講が
可能です。

※初級/上級を受けない方も見学可能です。

◆受講料 (税込)

・1部→無料

・2部→初級受講 11,000円

・3部→上級受講 110,000円

◆認定書 (税込)

・初級受講認定書 13,200円

(初級受講者限定、名刺サイズ和紙)

・上級受講認定書 132,000円

(上級受講者限定、A4サイズ和紙)



無料枠の解説

見えない不思議なエネルギー！？「クルミラ」体験会
大人気 YouTube 番組「令和の虎」に志願者として2度出演し2度の ALL を達成した
クルミラ開発者の大内真輔が、遂に「クルミラ」開発秘話を語る。
クルミラパワーを体感できる実験も披露します。実際に起こる不思議現象を体験され
て下さい。

そしてメインイベント「龍神覚醒」とは？

大内が、龍神覚醒したストーリーをお話しします。そして、なぜ龍神覚醒を広める活
動をスタートしたのかその思いを語ります。

ちょっと気になる、怪しいけど聞いてみたい、本当かどうか体感し、自分の目で確か
めたい。そんな皆さま、まずは無料枠参加をご検討ください。

龍神覚醒とは？

本来人間が持つ能力に「癒やす」や「緩める」があります。

しかし現代人の多くはその能力を忘れてしまいました。龍神と自分の潜在意識が繋が
る事で、貴方の DNA に刻まれている本来の能力を、龍神の霊性により開放させるもの
です。龍神と繋がる事で、願い事の引き寄せが上手く行くようになったり仕事がうまく
行ったり思いがけない幸運が舞い込んだりすることでしょう。

初級編解説

受講する皆様が初級編のワークショップを通じて、忘れていた能力を開放して頂き、
覚醒レベルは全体の 30~40% 願望の引き寄せ力がしっかり強化されます。

上級編解説

上級では初級よりもさらに龍神との繋がりが太く強固なものになり、龍神に名前を
付ける事で絆で結ばれるほどの関係性となります。龍神は宇宙との繋がりがとても
強いので、強化された分だけ願望の引き寄せ力は更にレベルアップします。



初級認定書

表



裏



13,200 円 (税込)

龍神覚醒初級を受講していただいた証として、御朱印を押ささせていただきます。表面は、龍体文字を使ったフトマニ図をモチーフにした認定書です。約 300 種類もの御神水をブレンドした水を使った墨で書かれた特殊な和紙です。裏面は、絶大なる龍神からの無限のエネルギーの循環を意味した、龍神召喚幾何学模様の御朱印を押しました。自分の名前（龍体文字）が記されることによって龍神との繋がりを表現します。携帯しやすい名刺ほどのサイズで、御守りの様にお使い下さい。御守りとしては最強と言っても過言ではありません。

上級認定書

表



裏



132,000 円 (税込)

上級認定書は A4 に近いサイズ感で、墨と和紙は初級受講者認定書と同様です。上級認定書は初級の認定書には無いご自身で命名する龍神の名前を記し、龍神召喚幾何学模様の御朱印で龍神の名前と貴方の名前を強固な絆で結び付けます。表面には 100 体の龍との繋がりを表した超強力な霊力を持つフトマニ図が書かれ、周囲に書かれている「龍」の文字はどれ1つとして同じフォントはなく、書き順は筆者の先生に降ろされたインスピレーションにより記されます。四隅に一文字で存在する4つの龍体文字は型の決まってない文字で、先生が貴方の龍と対話し文字が決定されます。つまり貴方だけのオリジナルの龍の文字となります。

上記写真の裏面の1段目はご自身が付けた龍神の名前（福彩）、2段目は福彩を龍体文字で表現、3段目はご自身の名前、4段目はご自身の名前を龍体文字で表現となります。

龍神との繋がりをさらに強化したい方に向けた特別仕様となっており、最後に龍神覚醒主宰の大内が開発したクルミラエネルギー転写加工を施します。

この認定書を自宅に飾れば御守りとしてだけでなく空間そのものを貴方だけの特別なパワースポットにしてしまうことでしょう。